

とよた

市議会だより

TOYOTA CITY COUNCIL No.177

みんなで作って、 育てていく博物館へ



表紙の写真と関係議案 (議案第40号関係)

春から新しく開館した博物館は、市の歴史、文化、自然、産業等をテーマに、「みんなで作ってつづける」をコンセプトにした、市民が主役の総合博物館です。今回掲載した内容は、市内の小学生が自ら採取し、育てたどんぐりの苗を庭園に植え、郷土の森をつくるプロジェクトです。

3月市議会 定例会号

令和6年5月1日

目次

■ トップインフォメーション 特別委員会の調査研究結果	2
■ 議案説明 条例の一部改正など	4
■ 討論 議案に対し、賛成または反対の意見を表明	5
■ 常任委員会 付託案件を審査	6
■ 議案審議結果 条例の一部改正など	8
■ 代表質問 各会派の代表が市長に質問	10
■ 一般質問 市政を問う! 18人の議員が質問	12
■ トピックス 市民シンポジウムの開催報告/若者との意見交換を行いました	16

市議会だよりが全ページカラーとなります

特別委員会の



報告書を市長へ提出

市議会では、議案や予算決算を審査している常任委員会とは別に、市の重要な課題の検証や議会の活性化に向けた取組を専門的に調査・研究する「特別委員会」という組織を設置しています。

令和5年度は、多くの来訪者が見込めるラリージャパンの開催や、スポーツを通じたまちの活性化への検討、また議会基本条例を基にこれまで議会の活性化に向けて取り組んできた内容の検証をテーマに、二つの特別委員会が1年間にわたり調査研究を行ってきました。

今回は、各特別委員会の調査研究結果について報告します。

スポーツを通じたまちの活性化特別委員会

目的と調査研究事項

ラリージャパンの開催による効果を最大限に発揮することで、まちの活性化を図る。また、本市が有する大規模スポーツ施設や資源を生かし、スポーツを通じて多様な交流機会の創出と市内経済の活性化を目指す。

- 1 ラリージャパン2022におけるまちづくりの取組の総括
- 2 ラリージャパン2023の取組を踏まえた今後におけるラリージャパンの在り方
- 3 スポーツを通じた来訪拡大推進策

主な活動内容

- 執行部や関係団体へのヒアリング(意見交換)
- 行政視察(県外)日程:令和5年10月24日～26日
 - ・佐賀県:佐賀県スポーツコミッション
 - ・広島県:スポーツアクティベーションひろしま
 - ・一般社団法人ディスカバー東広島:観光地域づくり法人(DMO)における魅力発信策等
- 行政視察(市内)日程:令和5年11月6日、17日
 - ・フォーラムエイト・ラリージャパン2023の豊田スタジアムSSSコースにおける整備状況及び取組
 - ・稲武ダムSSコースにおける大会開催状況及び取組

調査結果(提言内容) ※抜粋

1 ラリージャパン2023の取組を踏まえた今後におけるラリージャパンの在り方

- ・市民がラリーに親しむ機会の創出・情報発信の強化
- ・経済波及効果等を利用した成果指標の設定・分析
- ・市民優先の大会運営
- ・市内事業者との情報連携の徹底
- ・事業費の精査
- ・チケットの販売価格や販売方法等の見直し
- ・市内各地で年間を通じてラリーを体験できる機会の創出
- ・WRC観戦客等のニーズに合った宿泊プラン造成と市内周遊の仕掛けづくり
- ・全庁でラリーを応援・情報発信
- ・競技コースの存続による開催エリアの更なる振興に向けた取組



ラリー会場視察

2 スポーツ(イベント)を通じたまちの活性化

- ・スポーツツーリズムの特化に向けた庁内組織の見直し
- ・大会開催における補助制度の拡充
- ・豊田スタジアム、スカイホール豊田を始めとした市内施設の活用強化
- ・スポーツツーリズムを推進する新たな地域資源の活用方法の発掘
- ・市内企業・大学・プロスポーツチームとの更なる連携
- ・障がい者スポーツ大会の更なる誘致



視察の様子

調査研究結果

議会活性化推進特別委員会

目的と調査研究事項

議会基本条例に基づき、前任期中に行ったこれまでの取組を検証・評価し、今任期中の議会活性化に向けた方針を設定することで、継続的な議会力の向上を目指す。

- 1 議会基本条例の検証及び評価
- 2 議会活性化方針の設定

主な活動内容

● 勉強会「議会基本条例の評価及び検証」の開催

講師：自治体議会研究所 高沖 秀宣 氏

● 行政視察 日程：令和5年10月24日～26日

- ・神奈川県秦野市：議会基本条例の検証
- ・東京都立川市：議会基本条例に沿った検証の実施
- ・神奈川県茅ヶ崎市：決算審査における決算事業評価の導入



勉強会の様子



視察の様子

調査結果(提言内容) ※抜粋

1 議会基本条例の検証及び評価

(1) 議会活性化のさらなる推進

- ・基本条例の条文自体は見直しを必要としないが、引き続き条例の理念に従い、議会の活性化を図る必要があり、議会活性化方針を設定する。

(2) 今後の議会基本条例の検証及び評価方法の見直しと変更

- ・内部評価だけでなく、外部からの第三者評価の検討
- ・市民意識調査や傍聴アンケート等を活用した市民意識把握
- ・任期3年目に市民意識調査を行い、その結果を踏まえて任期4年目の特別委員会で検証

2 議会活性化方針の設定

(1) 取組方針と各種取組

- ①市議会情報発信の推進：市議会だよりやホームページのリニューアルなど
- ②市民が参画しやすい環境の構築：傍聴環境の整備、市民シンポジウム等の見直し
- ③議会の機能強化：政策に強い議会体制の構築、専門的知見の積極的活用、議会基本条例の検証及び評価方法の見直しなど

(2) 実施時期及び各種取組の実施主体：議会活性化取組計画(案)に沿って実施

調査研究結果の報告書は閲覧することができます

「スポーツを通じたまちの活性化特別委員会」「議会活性化推進特別委員会」をはじめ、各特別委員会の調査研究結果報告書は、市役所市政情報コーナー（南庁舎1階）や市議会ホームページでご覧いただけます。

(市議会ホームページTOP → 市議会の概要 → 特別委員会調査研究結果報告書)

豊田市議会ホームページ
<http://toyota-shigikai.jp/>



豊田市議会

検索

条例の改正、補正予算など66議案を議決。そのほか同意案件などを審議。

令和6年度一般会計予算を修正可決

【議案第40号】 一般会計予算

令和6年度の当初予算は、骨格予算とはしつつも、第8次総合計画を継続的に推進するほか、市民の暮らし応援や安全安心を確保する事業など、喫緊の課題に確実に対応することを基本的な考えとして編成し、対前年度比73億円増の1,956億円でありましたが、3月21日の予算決算委員会で予算の修正の動議が発議され、その後の定例会最終日に行われた採決では修正案を可決とし、加えてその他の原案についても可決とする修正可決となりました。

(修正の内容)

今回提出された修正内容は、世界ラリー選手権(WRC)の開催推進費を3億円減額し、一方で給食費の無償化に関連し、小中学校の学校給食運営費等を1億2,653万円増額させる内容でした。その結果、全体として令和6年度一般会計総額が、1億7,346万円減額の1,954億2,653万円に修正されることとなりました。

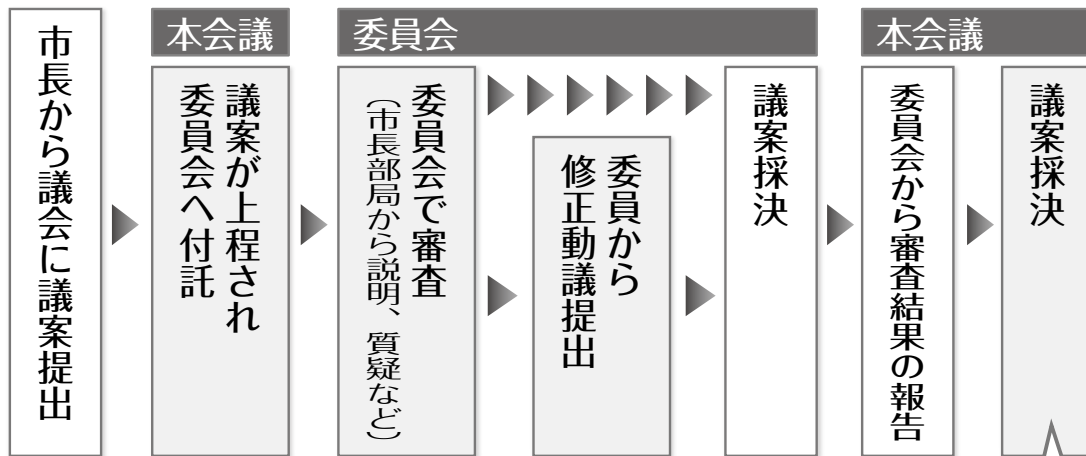
修正動議とは？

市長から議会に議案(条例の制定、改廃、予算の策定)の提出があった場合、本会議及び常任委員会等で審査し、議決を行います。

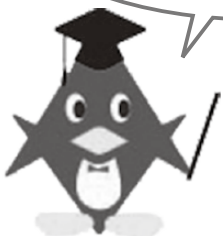
しかし、提出された議案の内容に対し議員(委員)は必要に応じて修正をすることが可能です。議案の修正を行う場合、その議案の目的の範囲内において、修正案を添えた「修正動議」を提出することとなります。

今回、修正可決に至るまでの議案審査の流れ

議案審査の流れ



議会の議決に異議があるときは、市長がやり直し(再議)を求めることが可能となります。



本会議において修正可決された場面

討論

3月市議会定例会の最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各党派等の議員が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。

※発言順に記載

根本美春 諸派

**一般会計予算の修正案は賛成、
その他原案については反対。**

議案第40号:修正案で提示された給食費の無償化は子育て支援のさらなる拡充につながるものであり、また世界ラリー選手権開催費用に関わる3億円の減額は、税金の使い方として指摘してきたことと重なることもあり賛成。一方で、当初上程されていた予算原案については、学校体育館等への空調設備の設置や加齢性難聴者等への補聴器購入補助制度の創設については、評価するものの、歳入は法人市民税を制限税率の上限まで超過して課税すべきである。また、歳出については、マイナンバー政策の実施に対し、国に対策を求めるべきであり、議員報酬の増額や中央公園の関連予算の市の持ち出し分が多いことや中央公園第2期整備事業が公園の基本を揺るがす危険性を指摘できることなどの問題から、反対。

塩谷雅樹 市民フォーラム

**一般会計予算の修正案は
反対とし、予算原案を賛成。**

議案第40号:予算は過去最高額でありながら、市債を昨年から減額し、基金の取崩しを極力抑える等、柔軟に対応する予算編成は評価できる。歳入では、未利用財産の利活用やふるさと寄附金、国庫補助金の採択に向けた事業調整を確認できた。また、歳出では給食費無償化や高校生世代までの医療費無償化などを計上することによる教育環境の確保や、カーボンニュートラル・DXの推進、体育館等の空調設備設置を評価し、賛成。一方で、一般会計予算の修正案については、その内容のうち、中学生以下の給食費の無償化は詳細な制度設計ができておらず、議会で審議していない事業を当初予算に計上することは、議会の在り方から逸脱している。また、世界ラリー選手権開催費の予算減額については、他の出資者への不安をあおることにつながりかねない。2024年大会は経済効果や環境配慮の取組など、昨年以上の効果を見込んでおり、反対。

岩田 淳 自民クラブ

**一般会計予算の修正案及び
その他の予算原案についても
賛成。**

議案第40号:法人市民税が増加し、経済活動が戻りつつあり、市債の減額も健全財政を維持できる姿勢が示されたと感じられた。給食費無償化や世界ラリー選手権に関わる開催推進費の予算修正の提案には至ったが、その他予算原案についても義務的経費としての児童手当の拡充や子ども医療費の対象拡大などの子育て施策や普通建設事業費の確保等、第8次総合計画の最終年度として着実な推進をするものと評価し、賛成。

榎屋小百合 公明党

**給食費の無償化は
子育て世帯への効果を期待できる
ことから、賛成。**

議案第10号:給食費の無償化は、子どもたちの健康と学力向上、社会的格差の解消、保護者の負担軽減という観点から必要性が高い。令和5年度から検討を進めてきた中、給食費の無償化が子育て世帯への経済的な負担軽減策としては、給付型支援よりも、早期に実施が可能であることも理解できる。国に先駆け、決断をしたことを評価する。また、物価高騰が継続する中、子育て世帯にとって経済的負担が大きくなる時期を考慮し、実施開始の施行日を4月1日としたこともあわせて評価し、賛成。

中島竜二 新しい風

**豊田市駅西口バス乗降場の
雨天対策やバリアフリー対策を
評価し、賛成。**

議案第53号:豊田市駅西口改修時のバス乗降場における雨天対策は、各バス降り場において雨天対策として屋根を設置する予定である。バリアフリー対策としては、豊田市駅に向かう多くのバス利用者が、市道けやき通り線を横断することが想定されるため、視覚障がい者誘導用ブロックを新たに道路横断部に設置するなどのバリアフリー対策を確認できた。豊田市駅西口改修時における利用者への影響を最小限に抑えるよう、引き続き取り組まれることを期待し、賛成。

常任委員会

常任委員会とは 地方公共団体の議会が地方公共団体の事務に関する調査、議案及び陳情等の審査を行わせるために、条例で定め常設する委員会のこと。本市では、以下の6委員会が常任委員会となります。

産業建設 委員会

3月12日、付託された10議案を審査し、議案の全てを全会一致で承認しました。

【第53号】 工事請負契約の締結
(豊田市駅西口周辺整備工事)

質問 当該工事は、大型商業施設T-FACE等との近隣工事となるが、その事業者との協議の状況、また各テナントに対しどのような配慮をしたのか。

答弁 当該工事はデッキ階と地上階がそれぞれT-FACEと接続していることから、各フロアにおいて安全な歩行者動線を確認し、段階的に切り替え、工事を進めていく。これらの工事の進め方について、豊田まちづくり株式会社やT-FACEの各テナントに対して、詳細な施工ステップ図を用いて、事前に説明している。また、T-FACEの出入口や外向き店舗の前を工事する際は、営業に支障がないように配慮し、夜間作業を行う予定である。

【第58号】 財産の取得(市道豊田西部2号線用地(大池町地内))

質問 市道豊田西部2号線の計画概要と期待される効果はどのようなか。

答弁 市道豊田西部2号線の計画概要は、国道155号豊田南バイパスとみよし市東部の三好丘を結ぶ道路の一部を構成する延長約900m区間となる。道路幅員は、整備済み区間と同じ16mで、2車線、両側歩道で構成される。期待される効果としては、みよし市東部と豊田市街地を結ぶ市道福谷一色線への交通集中を緩和することによる生活環境の改善や小・中学校通学時の安全性の向上などが図られることである。

環境福祉 委員会

3月13日、付託された4議案を審査し、全てを全会一致で承認しました。他に請願1件を不採択としました。

【第17号】 介護保険条例の一部改正条例

質問 令和4年度に実施した高齢者等実態調査での主な回答を、今回の第9期介護保険事業計画の見直しにどう反映させたのか。

答弁 回答では、社会参加の頻度が高い人ほど幸福感が高いことが確認でき、引き続き社会参加の促進に重点的に取り組んでいく。また、介護人材の不足が課題との回答も多くあり、介護人材の確保・定着・育成への取組を充実させていく。さらに、在宅での介護を断念し、施設等へ入所する原因については、『認知症による問題行動が多くなったとき』が最も多く回答があったことから、認知症対策については、引き続き重点施策として位置付けていく。

【第26号】 食育推進会議条例を廃止する条例

質問 食育推進を含め一体化した「健康づくり豊田21計画」の推進におけるポイントと、その中でも特に食育部門の具体的なポイントはどのようなか。

答弁 計画のポイントは大きく分けて3点あり、1点目は、不足していた若い世代や働く世代を対象とした、健康づくりへの取組を積極的に進めていくなど、全世代へのアプローチを行っていくこと。2点目は、ボランティア団体や民間事業者など多様な主体との連携を強化し、まちぐるみの健康づくり活動をさらに進めていくこと。3点目は、情報発信などにおけるICTの積極的な活用を進め、多様化する社会参加や健康づくりの取組に対応していくことである。また、食育部門のポイントは、市民アンケートで見えてきた課題である、朝食やバランスの良い食事の摂取など、食生活改善への取組を推進していくことで、健康増進やこころの健康づくりにもつながっていくことから、総合的な視点で取組を進めていく。

教育社会 委員会

3月14日及び3月22日、付託された5議案を審査し、議案の全てを全会一致で承認しました。

【第10号】 学校給食センター条例の一部改正条例

質問 アレルギー等の理由で弁当を持参している児童生徒や、不登校の児童生徒など、給食費無償化の恩恵を受けられない者に対する支援を、無償化と同時に実施できない理由はどのようなか。

答弁 給食を食べている場合は、給食費の徴収を止めるだけで支援できるが、アレルギーや不登校などの理由で給食を食べていない場合は、時々給食を食べている日もあるため、対象者の実態把握を踏まえた制度設計が必要である。

特に、不登校の場合は、不登校対策との連携を図る必要がある。こうした制度設計には時間を要するため、必要な予算については改めて補正予算で対応したいと考えている。

質問 恒久的な財源が必要とされる本施策において、財政運営を可能としている具体的な根拠はどのようなか。

答弁 給食関係だけでなく、一般会計全体の歳入、歳出、基金残高、市債残高について、現時点で想定できる情報や、内閣府の最新の中長期の経済財政に関する試算も参考に令和7年度以降の財政シミュレーションを行っている。

シミュレーションでは、歳出のうち、物件費は、令和7年度想定額から2%の上昇率、毎年度8億円増額で見込み、歳入のうち、令和7年度以降の法人市民税は、直近3年間の平均額や令和6年度当初予算額より低い額の平均180億円でシミュレーションしても、令和11年度末の基金残高は520億円確保でき、市債残高は465億円となる。

令和4年度中核市平均の基金残高276億円、市債残高1,363億円と比較しても、将来への備えは多く確保され、負担は少ない状況であり、通常に財政運営可能と判断している。

地域生活

委員会

3月15日、付託された8議案を審査し、議案の全てを全会一致で承認しました。

【第56号】財産の取得
(三河湖観光センター)

質問 三河湖観光センターの整備手法とその理由はどのようなか。

答弁 再整備においては、設計施工一括発注方式を採用した。設計と施工を一括で発注することにより、民間事業者のノウハウによる工期短縮などの効率性が期待できる。令和6年度の世界ラリー選手権開催時における新施設の活用を見据え、この方式を採用した。



三河湖

【第57号】財産の取得について
(防災行政無線システム移動無線機)

質問 移動系防災行政無線をIP無線に更新する理由はどのようなか。

答弁 導入するIP無線機は、ボタン1つで通話ができ、操作しやすく、2種類の携帯キャリアの電波到達範囲で通話可能な機種であり、災害対応に適した機器となっている。また、このIP無線機は、愛知県医師会などで導入済みであり、今後、防災関係機関との相互通信など、連携した対応が期待できる機器と考えている。

企画総務

委員会

3月8日、3月18日及び3月22日、付託された13議案を審査し、議案のすべてを承認しました。他に陳情1件を報告しました。

【第3号】情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正条例

質問 今回の変更により期待される効果はどのようなか。

答弁 審査会における審議の効率化が図られるため、スムーズな審査会からの答申に寄与し、速やかな審査請求に対する裁決の発出につながる。審査請求は権利救済のための制度であることから、速やかな裁決の発出は、審査請求人の利益になると考えている。

【第16号】国民健康保険税条例の一部を改正する条例

質問 今回、本市独自の激変緩和措置の延長期間を2年間とした理由はどのようなか。

答弁 愛知県では、市町村が県に納める納付金の算定において、市町村ごとの医療費水準の違いを反映させない、納付金ベースの保険税水準の県内統一を令和11年度までに段階的に実施することとなった。

このことにより、医療費水準が低い本市のような市町村には新たな負担が生じ、愛知県の試算によると、本市の影響額は、被保険者1人当たり年額平均で約6,300円、令和2年度以降の引上げ幅の約2年分に相当することから、激変緩和措置期間を2年延長することとした。

予算決算

委員会

3月11日から21日に付託された議案25件の案件を原案のまま承認し、1件を修正案として承認しました。

【第40号】令和6年度一般会計予算

＜歳出2款1項10目＞
財産管理費

質問 未利用財産の利活用における民間活力の導入に向けた具体的な取組はどのようなか。

答弁 市有地の一般競争入札に係る公告をしても申込みがないなど、昨今の状況からも、民間活力の導入は、市場性を加味した確実な成果につながる有効な取組と考えており、今後、特に重点的に進めていく。

そのため、令和6年度以降、民間事業者との定期的な意見交換などによる情報把握のほか、利活用策の提案募集の実施や売却手続きに係る連携方策の検討など、具体的な仕組みづくりを進めていく。

＜歳出10款2項3目及び10款3項3目＞
体育館等暑さ対策費

質問 補助金の見込みと、補助金を最大限活用するための取組はどのようなか。

答弁 学校体育館・武道場の空調設備に対する国の補助金は、学校施設環境改善交付金として、総額で20億7,000万円余を見込んでいる。

この国の補助金は、令和5年度から令和7年度まで、補助率が3分の1から2分の1へ引き上げられていることもあり、補助金を最大限に活用するため、整備スピードを重視し、令和7年度の夏までの整備を目標に、早急な対応を図っていく。

3月市議会定例会に提出された案件			採決結果	会派別賛否 ※自民クラブは議長を除く																	
				自民クラブ 27名		市民フォーラム 9名		公明党 4名		新しい風 3名		諸派 1名									
				賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対								
◆議案																					
第40号	令和6年度一般会計予算	修正案	修正可決	27	0	0	9	4	0	3	0	1	0								
		修正部分を除く原案		27	0	9	0	4	0	3	0	0	1								
41	//	国民健康保険特別会計予算	原案可決	27	0	9	0	4	0	3	0	0	1								
42	//	都市計画事業土地区画整理特別会計予算	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0								
43	//	分譲住宅建設事業特別会計予算	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0								
44	//	卸売市場特別会計予算	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0								
45	//	水道水源保全事業特別会計予算	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0								
46	//	母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0								
47	//	介護保険事業特別会計予算	//	27	0	9	0	4	0	3	0	0	1								
48	//	財産区特別会計予算	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0								
49	//	後期高齢者医療特別会計予算	//	27	0	9	0	4	0	3	0	0	1								
50	//	産業用地造成事業特別会計予算	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0								
51	//	水道事業会計予算	//	27	0	9	0	4	0	3	0	0	1								
52	//	下水道事業会計予算	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0								
53		工事請負契約の締結(駅西口周辺整備工事)	//	27	0	9	0	4	0	3	0	0	1								
54		製造請負契約の締結(防災行政無線システム同報無線設備製造)	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0								
55		財産の無償譲渡(御内製作工房施設集会所及び屋外活動施設)	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0								
56		財産の取得(三河湖観光センター)	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0								
57	//	(防災行政無線システム移動無線機)	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0								
58	//	(市道豊田西部2号線用地(大池町地内))	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0								
59		指定管理者の指定(山村地域活性化住宅コーポ棟畑)	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0								
60		包括外部監査契約の締結	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0								
61		市道の認定	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0								
62		市道の廃止	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0								
63		事務分掌条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0								
64		職員定数条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0								
65		市税条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0								
66		財産の取得(小学校教師用教科書及び指導書)	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0								
◆同意																					
第1号	副市長の選任		不同意	0	27	9	0	0	4	3	0	1	0								
2	教育委員会教育長の選任		同意	27	0	9	0	4	0	0	3	1	0								
◆報告																					
第1号	専決処分報告(損害賠償額の決定11件、補正予算1件、訴えの提起1件、工事請負契約の変更3件)																				
◆請願																					
第1号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する助成制度の創設等を求める請願書	不採択		0	27	0	9	0	4	3	0	1	0								
◆陳情																					
第1号	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情																				
◆議員提出議案																					
第1号	市議会委員会条例の一部改正条例	原案可決		27	0	9	0	4	0	3	0	1	0								

代表質問

自民クラブ・市民フォーラム・公明党・新しい風の各会派が太田市長に市政を問う!



自民クラブ

団長 山田 主成



- 市政運営に対する太田市長の考え
- ひとづくり
- くらしづくり
- まちづくり
- 令和6年度当初予算

質問 子どもの学びと育ち、生涯を通じた学びと生きがい

小・中学校の体育館・武道場への空調整備の進め方、そしてラリージャパン2023年大会の評価と2024年大会の方向性を聞く。

答 弁 市 長

すべての小・中学校の体育館・武道場を対象に、令和7年度の夏までの空調設置を目指して、安全・安心で快適な教育環境が確保できるよう取り組んでいく。あわせて、避難所の拠点となる26校の体育館については、防災機能として72時間自立運転が可能な空調設備を導入していく。

ラリージャパン2023年大会については、スタッフへの事前講習の実施や配置を手厚くしたことで、安全な大会運営を行うことができ、FIA(国際自動車連盟)からも高い評価を得られた。2024年大会は、ラリーのまち豊田市としてのブランド力を発揮したまちづくりを目指すため、市民がラリーに親しめるように注力する。会

場は豊田スタジアムをコースとすることの有無も含め、実行委員会において決定される。

質問 持続的な発展を支える自治の仕組みづくり

みよし市との間における事務の委託等の見直しを始め、近隣自治体との連携の在り方をどう考えているか。

答 弁 市 長

本市が目指す自治体間の連携は、自立した対等な基礎自治体としての関係を前提に、共通課題に対して相互協力・相互補完する連携やそれぞれの自治体が他の地域の特性や強みなどを生かし、将来に向けた取組の効果や圏域の価値を向上させる連携が重要であると考えている。みよし市との事務委託の関係見直しについては、こうした基本的な考えの下で引き続き、みよし市の見解や具体的な考えを確認しながら、協議を進めていく。

- 将来展望を描いた施政方針
- 将来展望からの施策全般
- 将来展望からの予算編成

質問 市長が目指すまちの姿

4期目の市政運営に対する市長の想いはどのようなか。

答 弁 市 長

自動車産業が100年に1度の大変革期と言われる中、社会インフラの老朽化や、人口減少・少子高齢化などの社会課題が顕在化している。また、新型コロナウイルス感染症により、地域社会の絆や各種団体の維持・運営に影響が生じている。地域の元気を取り戻すため、困難な社会情勢を乗り越え、安心で活力と魅力ある豊田市を子どもたちにつなげていく。市政の推進に当たっては、市民の声を聞きながら、

全身全霊をかけて市政運営にあたる所存である。



質問 市長が目指すまちの姿

市民の声を基に、豊田市の将来像の実現に向け掲げた選挙公約の想いについて聞く。

答 弁 市 長

3期12年の任期中、各地域や現場を訪れることで、市民の声を聞き、関係を築いた。経験とつながりを最大限に生かして、課題を乗り越えていくことが、果たすべき役割だと感じた。3つの政策、「ずっと自分らしく



市民フォーラム

代表 日當 浩介



暮らせる」まち、「豊かな心と雇用がある」まち、「一人一人に寄り添う」まちを政策の柱として掲げた。政策を推進し、「このまちで暮らしたい、こんな大人になりたい」と思える明日の豊田市の礎を築いていく。

3月市議会定例会において、新年度に向けた「施政方針」に対し、それぞれの会派の代表者が3月1日に代表質問を行いました。

その質問と答弁の一部を要約してご紹介します。



公明党

団長 田代 研



- ずっと自分らしく暮らせるまちづくり
- くらしづくり
- 令和6年度当初予算編成

質問 感染症予防対策及び大規模災害時の体制強化

感染症危機に対する日頃からの準備やワクチン接種に今後どのよ

うに取り組まれていくのか、市の考えを聞く。

答 弁 市 長

新型コロナウイルス感染症のまん延は、市民生活に大きな影響を与えたことから、平時からの備えが重要である。国においては、次の感染症の発生やまん延に備えるため感染症法等の改正が行われたことから、本市も感染症予防計画等所要の計画策定等を進めている。これらの計画等に基づき、庁内外での連携体制の下、次の感染症危機に臨めるよう、平時の備えや有事の対応などの準備を進めていく。新型コロナウイルスワクチン接種は、国の動向を注視し、準備を進めていく。

質問 令和6年度当初予算編成

日本経済はコロナ禍を乗り越えてきたが、長期に及ぶ物価高騰は家計等への影響は大きい。市の物価高騰支援策について聞く。

答 弁 市 長

物価高騰の影響への対策については、国・県の施策では十分に届かない市民や事業者へ支援を実施する予定である。こども園・幼稚園から中学校までの給食費無償化については、4月から開始することで、子育て世帯への家計負担軽減を図るほか、畜産農家については、引き続き粗飼料・配合飼料の価格高騰対策を進めていく。



- 太田市長の4期目の基本姿勢
- 重点施策の取組

質問 令和6年度の市政運営の基本的な考え方

ずっと自分らしく暮らせるまちの基本的な考え方や実現に向けた方策とは。

答 弁 市 長

こども、若者、女性、高齢者など、それぞれの市民を取り巻く環境や立場の中で、「住み続けたい」と思っただけのライフステージに応じた切れ目のないまちづくりを念頭においている。政策の柱として、子育て環境ナンバーワンのまち、高齢者の健康の総合的なサポートなどに取り組んでいく。

質問 令和6年度の市政運営の基本的な考え方

子育て環境ナンバーワンのまちの基本的な考え方や実現に向けた方策とは。



とよた子育て総合支援センター

答 弁 市 長

子育て支援については、これまで政策の大きな柱として掲げており、子ども医療や学校教育の充実など、様々な施策を積極的に推



新しい風

代表 岡田 耕一



進してきた。今後も、市民が本市の子育て環境はナンバーワンと自負できるまちを目指し、大胆かつきめ細やかな施策展開を図っていく。

市政を問う!

3月4日から7日にかけて、18人の議員が市政の方針や考え方などについて問う「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。

北川敏崇

自民クラブ



●本市の感染症対策・感染症危機管理体制

質問 今後に向けた感染症危機管理体制の整備

今後の感染症危機に対し、一元的にマネジメントできる総合的な感染症危機管理体制の体制づくりの考えを問う。

答弁

保健部

新型コロナウイルス感染症への対応と同様に、次の感染症危機の際にも、複雑な課題や予測できない状況に直面する可能性があり、庁内全体の調整機能も重要になると考えている。令和6年度からは、庁内の副部長級職員による会議を定期的で開催し、平時から情報共有や実務的な調整を行うことで、事前の備えや機動的対応の充実を図ることに加え、健康危機管理対策本部が一元的なマネジメント機能をより発揮できる体制を整えていく。

兵藤慎也

自民クラブ



●公園を活用した地域活性化
●公共が持つ資源の有効活用

質問 多様化する都市公園・地域広場の役割

地域で集える交流の場である都市公園・地域広場のさらなる利用促進に向けた本市の取組を問う。

答弁

都市整備部

都市公園の利用促進に向けては、安全対策などを行い希望に沿ったイベントの開催ができるよう、条例などの柔軟な運用に取り組んでいく。そして従来に比べ、都市公園の利用の幅が広がり、使いやすくなったこと

のPRなどを行っていく。

地域広場においては、自治区に対し、トイレや給水施設等の施設整備に係る補助金制度の紹介を行うなど、利便性の向上や利用促進につながる案内を丁寧に取り組んでいく。



鞍ヶ池公園

海老澤要造

自民クラブ



○再生エネの促進と地域の環境保全
●小中学生の教育環境の課題と対策

質問 小中学校の教育環境の現状とアンケート調査

スクールバス等による登下校の柔軟対応について、本市の考え方を問う。

答弁

教育部

本市では、義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令に準じて、全市一律の基準(小学校4km以上、中学校6km以上、徒歩60分以上)を設け、通学に要する経費の支援やスクールバスの運用を行っている。児童数が減少し、集団での登校が難しくなったり、動物との遭遇等の危険が心配されたりする等、基準の設置当時と状況が大きく変化していることから、運用の見直しの検討をしていく。

根本美春

諸派



○災害から命と暮らしを守る対策
●少子化対策と定住促進のための施策

質問 バス無料化とバス路線の拡充

市長が選挙公約に掲げた大学生以下と70歳以上のおいでんバス乗車無料化の考え、目的、詳細を問う。

答弁

都市整備部

おいでんバスは、広大な市域を人々が行き交うことで、魅力ある地域資源に触れる機会を創出し、多様な人々が交流して、活気あふれるまちづくりにつながる社会インフラとして、通勤・通学を始め、多くの方に利用いただいている。運賃の無料化は、子どもや高齢者が安心して移動できる環境づくりに寄与するものと考えている。具体的な内容については、国や民間の交通事業者を始めとする関係者との協議・調整を踏まえ、決定していく。



おいでんバス

中島竜二

新しい風



●本市における障がい者福祉施設のあり方

質問 障がい者福祉施策の今後の方向性

障がい者に寄り添った施策を進めるため、ゆとりのある体制のもと、取

※質問順に掲載しています。 ※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム
公明党：公明党豊田市議団 新しい風：新しい風とよた 諸派：会派所属無

り組むべき。今後の福祉施策の方向性を問う。

答 弁 福 祉 部

第5次障がい者ライフサポートプランでは、「障がいのある人もない人も分け隔てなく、誰もが安心して自分らしく生きられる地域共生社会の実現」を基本理念に掲げている。この基本理念を達成するため、障がい者やその家族などの支援者の声に耳を傾けるとともに、関係機関等と密接に連携し、障がい者が現在だけではなく、将来に渡り、地域で希望する生活を送ることのできる質の高い環境整備を進めていく。

西田ひさよ

新しい風



●誰もが人として尊厳が守られる豊田市に

質 問 障害児とその家族、母親の尊厳ある暮らし

医療的ケア児支援法に「医療的ケア児を抱えることで家族の離職の防止に資する」とあるが、その認識と取組を問う。

答 弁 福 祉 部

医療的ケア児の家族の離職を防止するためには、家族による常時ケアを前提としない環境が必要と考える。本市では未就学期において、地域のこども園に看護師を配置して医療的ケア児を受け入れており、令和6年2月現在、4名が通園している。こども発達センター「たんぽぽ」では、療育が必要な医療的ケア児について、家族の就労形態に応じて、例えば地域のこども園に週3日、たんぽぽへ週2日通園する並行通園も実施している。



こども発達センター

石川嘉仁

自民クラブ



●命を守る交通安全対策への対応強化

質 問 交通安全対策要望に対する対応強化

交通安全対策の工事申請に対する実施体制強化に向けた今後の対応について、本市の見解を問う。

答 弁 地 域 振 興 部

令和6年度当初予算では、工事申請への早期対応を進めるため、地域要望に基づく交通安全施設の整備に必要な予算を要求し、生活道路における交通安全対策をより一層強化していきたいと考えている。また、横断歩道や信号機の設置といった規制が伴う申請や、生活道路区域におけるゾーン30プラスの導入などについても、早期に実現ができるよう、警察や関係機関と連携し、地域からの工事申請に対する実施体制強化に努めていく。



ゾーン30プラス

中村竹夫

自民クラブ



- 地震に強い都市を目指して
- 本市の小学校教育を考える

質 問 小学校の教科担任制の検討

教員不足などの課題もある中、教科担任制推進への取組の考えについて問う。

答 弁 教 育 部

教科担任制の導入を小学校で円滑に広げていくためには、まずは専科教員の確保が必要であると考えている。取組としては、教員同士で授業を交換するような手法を生かしたり、教科担任制研究校のカリキュラムや授業の進め方などを市内全域に広めたりして、教科担任制本来の目的である専門性の高い、きめ細かな指導に取り組んでいく。

都築清之

自民クラブ



●水と共に生きる豊田市の雨水対策

質 問 都市化に伴う雨水対策

道路整備における雨水流出抑制の考え方と具体的な対策について問う。

答 弁 建 設 部

道路を整備する際には、整備後の雨水流出量が、整備前の流出量を超えないような対策を行うこととしている。計画段階で現地調査を行い、周辺の地形や水の流れ、下流側の排水施設の能力などを確認し、道路の設計に反映している。具体的には、農地が道路になったことで流出しやすくなった雨を一時的に貯留する調整池の設置や透水性舗装の採用などが挙げられる。

市政を問う!

議員氏名
会派名



QRコードから、各議員の一般質問の動画を見ることができます。

中村孝浩

市民フォーラム



●公共施設等総合管理計画の推進

質問 個別施設計画の取組状況

インフラ施設の台帳の電子化により、管理情報の一元化を進めるべきと考えるが、本市の方向性を問う。

答弁

企画政策部

インフラ施設に関しては、道路法や河川法、下水道法など関係法令等に基づいて、施設ごとに台帳を整備しており、管理の効率化を図るため、順次、電子化を進め、適切な管理に努めている。公共施設等総合管理計画の改定に当たっては、公共建築物に加え、インフラ施設についても、情報を一元的に把握し、総合的に取りまとめている。公共施設等の総合的かつ効率的な管理を行うため、各施設の管理情報の一元的な把握や更なる効果的な活用に取り組んでいく。



北バイパス・航空写真

塩谷雅樹

市民フォーラム



○不良な生活環境改善に向けた取組

●持続可能な上下水道事業の取組

質問 上下水道事業の未来に向けて

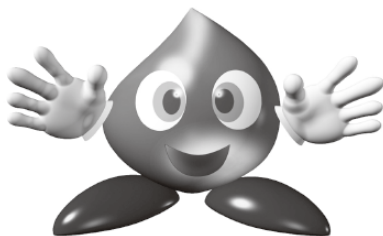
持続可能な上下水道事業として、未来に向けた事業管理者の想いを聞く。

答弁

事業管理者

水道、下水道ともに各関連計画な

どに基づき、老朽化対策や耐震化等の事業を計画・実行しており、あわせてDX化や計画の見直しにより基盤強化を進めていく。本市は料金収入の経営規模と比較し、膨大な管路施設を有している。県における広域連携・共同化による施設の統廃合や包括的民間委託による官民連携についても検討・活用を進め、持続可能な経営に取り組んでいく。



豊田市の水道キャラクター「ぴっちゃん」

深津秀仁

自民クラブ



●森林を活かした新たな産業の推進

質問 森林の価値を高める新たな産業の可能性

建材に使えなかった木材が高価に取り引きされれば、森林の資産価値も高くなる。木材を生かした新たな産業誘致を問う。

答弁

産業部

企業誘致では、自動車産業を取り巻く環境の変化を踏まえ、次世代モビリティ分野や環境・エネルギー分野などを重点産業分野に位置づけ、企業立地奨励金を倍額交付するなど重点的に支援している。木材を生かした新素材産業についても、企業を取り巻く環境の変化や業界の動向、企業ニーズなどを踏まえ、その事業が重点産業分野に該当するかを見極めながら、事業内容に応じ、市の企業立地奨励条例に基づき支援していく。

安藤寿昭

自民クラブ



●地域共生社会の実現に向けた包括的な本市の取組

質問 これからの地域共生社会の実現に向けた取組

地域共生社会の実現に向け、現在複数の関係条例を整理し、一つの条例として新たに制定するべきと考えるが、本市の考えを問う。

答弁

福祉部

各条例が制定されてきた背景には、山村の活性化、市民活動促進など、各分野に対する市民の具体的な想いが込められ、目指す姿に向かって、市民、事業者、行政等の取組が続けられているため、統合した場合、各条例の固有の理念が薄れてしまう可能性がある。本市には、市民に広く浸透している「豊田市民の誓い」があり、地域共生社会の理念がうたわれている。各分野における「つながり合い」「自分らしさ」「安心」を意識した施策を進めていく。

中尾俊和

市民フォーラム



●安全な自転車利用に向けた取組

質問 自転車の安全意識向上に向けた取組

自転車運転時の交通ルール遵守に対する意識向上に向けた、今後の考えを問う。

答弁

地域振興部

交通安全学習センターを中心とした交通安全教育に取り組むとともに、自転車利用者に対して交通ルールの周知や、ヘルメット着用促進など交通安全意識を醸成する。また、官民連携による先端技術を活用した「ジコゼロ大作戦」の一環として、スマートポールを自転車安全利用推進

○一般質問の大きなテーマ(大項目)
●以下の質問に関連している項目

質問 一般質問の小さいテーマ(中項目)
実際に質問した内容(小項目)

答弁 回答した部局名
質問に対する市の担当部局の回答

強化地区に設置し、自転車の走行データを取得・分析することで、自転車の安全を確保するための交通安全施設の整備の在り方や安全利用教育への活用を検討していく。



交通安全学習センター

榎屋小百合
公明党



- 地震から命を守る対策
- 人と動物の共生社会の実現に向けて

質問 木造住宅耐震化の取組

大規模地震の発生が危惧される中、木造住宅の耐震化は喫緊の課題である。耐震化補助制度の拡充を提言するが、市の考えを問う。

答弁 都市整備部

能登半島地震を受け、現在、専門家による国の委員会、住宅の耐震基準と被害との関連を検証しており、今後、結果がとりまとめられると聞いている。本市の補助制度は、国及び愛知県に準じた基準としていることから、まずは、国による検証結果をしっかりと把握することが重要であると考えている。

大石智里
公明党



- 地域共生社会の実現
- 野生鳥獣から市民の安全を守る

質問 地域共生社会実現のための
庁内体制整備

地域共生社会実現のためには、全

庁を統括する司令塔を置き、庁内を強力でリードしていく必要があると考えるが、市の見解を問う。

答弁 総務部

本市では、平成29年度から福祉総合相談課を設置し、地域共生型社会の構築に向けて市民ニーズの把握に取り組んできた。将来、孤独・孤立問題が顕在化・深刻化していくことが見込まれるため、福祉総合相談課の名称を「よりそい支援課」に変更し、誰一人取り残さない施策の総合調整に関する業務を追加させる。施策を進めるには、庁内横断による総合的取組が必要であるため、「よりそい支援課」は連携の旗振り役を担うことを想定している。

寺田康生
自民クラブ



- 時代の変化に対応した本市農業の在り方
- 文化芸術の裾野を広げる取組

質問 さらなる文化芸術振興に
向けて

本市の文化芸術振興を図るため、施策と財政的措置を含めた文化芸術振興条例を新たに制定するべきと考えるが、本市の考えを問う。

答弁 生涯活躍部

本市では、文化芸術基本法や愛知県文化芸術振興条例に基づき、文化芸術振興計画を定め、文化芸術振興に必要な施策を位置づけている。現状、この計画を着実に進めることで、文化芸術の振興に寄与できていると認識しているため、新規条例の制定については考えていない。今後、個別施策を条例に位置付ける必要性が生じた場合や、本市における文化芸術振興を取り巻く状況が大きく変化した場合には、改めてその必要性を検討する。

山本義勝
市民フォーラム



- モビリティ先進都市に向けて

質問 自動運転の実現に向けた
取組

自動運転レベル4の実証実験を今後どのように進めるか、本市の考えを問う。

答弁 企画政策部

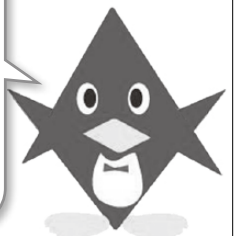
昨年、実施した自動運転バス実証実験では、路線上で工事や停車車両等がなければ、問題なく走行できることが明らかになった。今後、レベル4の実現に向けては、停車車両の回避などの走行上の課題や、実証実験では実施しなかった遠隔監視・制御技術の検証など、取り組むべき事項が多くある。技術の向上や収益性の高い路線設定、運行計画の検討などを行いながら、将来のドライバー不足や交通事故の削減につながる自動運転バスの実用化に向けた取組を推進する。

一般質問とは

議員が市政全般について、事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め又は質問することです。

定例会でのみ行われます。一般質問の順番は、くじ引きによって決まります。

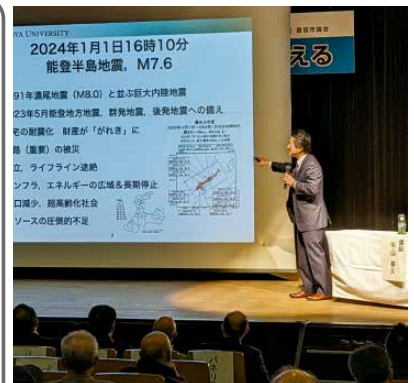
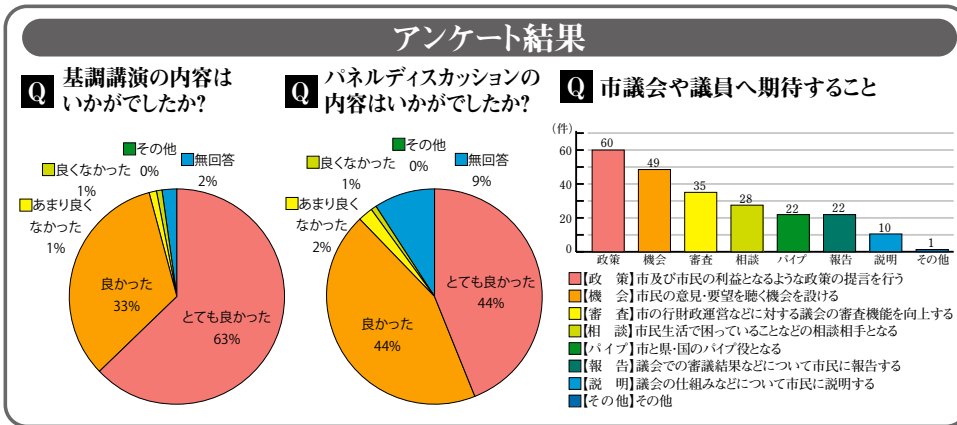
代表質問・一般質問の様子は、豊田市議会ホームページから視聴できますので、ぜひご覧ください!



将来の災害への備えを考える - 市民シンポジウムを開催しました -

令和6年1月13日午後2時から、豊田産業文化センター小ホールにおいて、「豊田市の災害文明と災害文化を考える」をテーマに市民シンポジウムを開催しました。

第一部では名古屋大学減災連携研究センターの平山修久准教授による基調講演、第二部ではパネリスト4名をお招きし、「将来の異常気象における豊田市の備えを考える」と題してパネルディスカッションを行いました。当日は135名の方々に御参加いただきました。



市民シンポジウムの様子

若者との意見交換を行いました

令和6年1月17日に議会だよりの紙面内容の向上に向けて、若者と意見交換を行いました。議会だよりの掲載内容に関する感想・意見のほか、議会活動に対するイメージについても話を伺うことができました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



意見交換の様子

市議会だよりが全ページカラーとなります

次号より、議会だよりは全ページフルカラーとなります。より見やすく、伝わる紙面づくりを目指し、今後も議会だより編集委員会で検討を重ねていきます。

市議会の予定 (5月市議会臨時会は5月15日(水)開会予定です) 6月市議会定例会は6月7日(金)開会予定です

..... ■ 請願・陳情の提出期限 / 6月定例会で審査を希望される場合は、5月29日(水)午後5時までにご提出ください。

★代表・一般質問の様子を視聴できます★

豊田市議会 ホームページで ▶ インターネット放送 <http://toyota-shigikai.jp/>

「市議会だより」のバックナンバーや会議録もご覧いただけます。 ▶ <http://toyota-shigikai.jp/movie.html>

一般質問の様子はスマートフォン等からも閲覧いただけます。 ※パケット通信が必要になりますので、携帯端末等での視聴はWi-Fi環境をおすすめいたします。

ご意見・ご感想

「市議会だより」についてのご意見・ご感想、また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】
豊田市議会局
 〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地
TEL.0565-34-6665
FAX.0565-34-6566
 Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp



豊田市議会は、古紙配合率70%の再生紙と植物油インキを採用しています。

※この冊子は、折込み「3月市議会定例会号」です。